

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2026年 第39週 (2026年9月21日～9月27日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

*管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

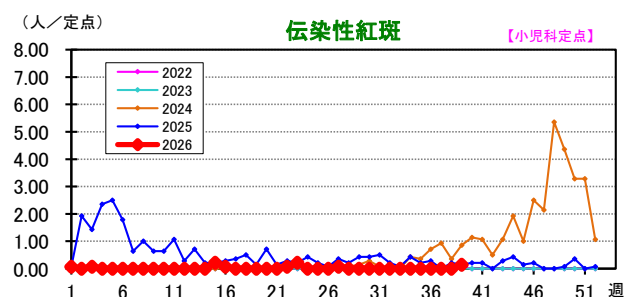
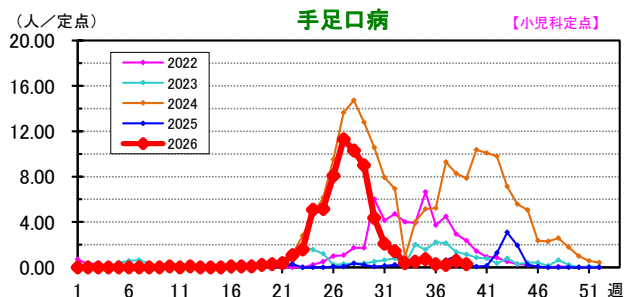
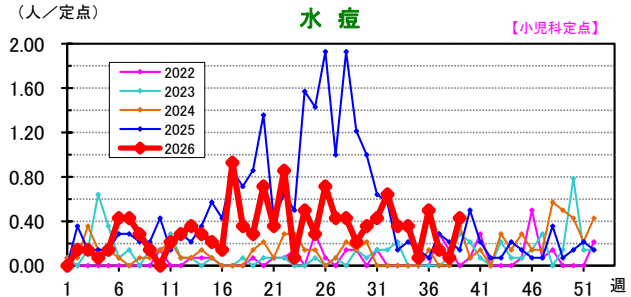
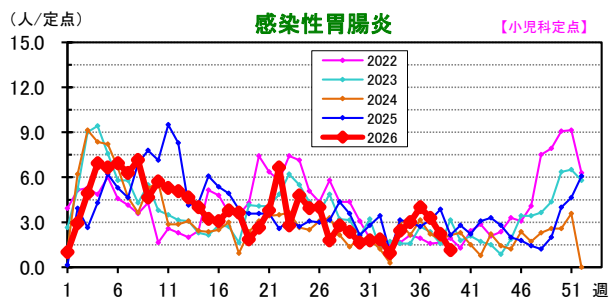
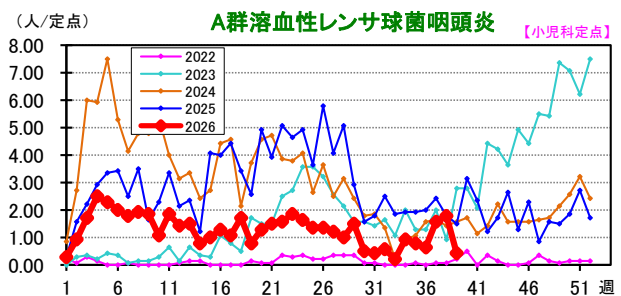
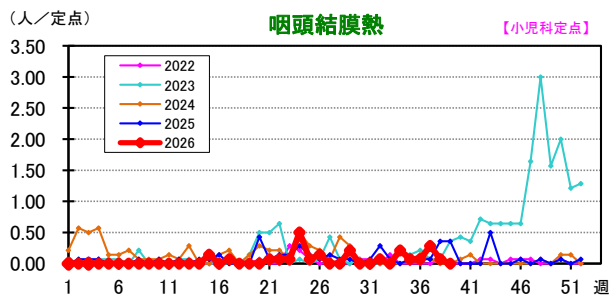
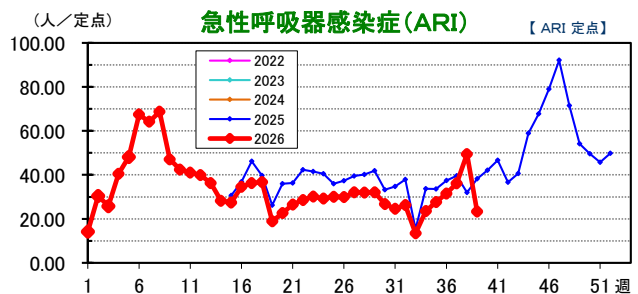
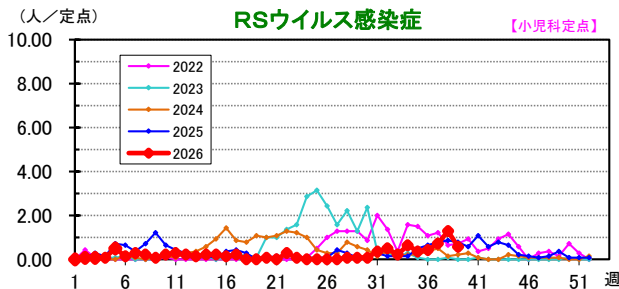
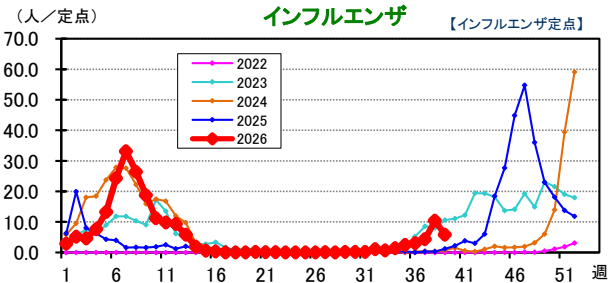
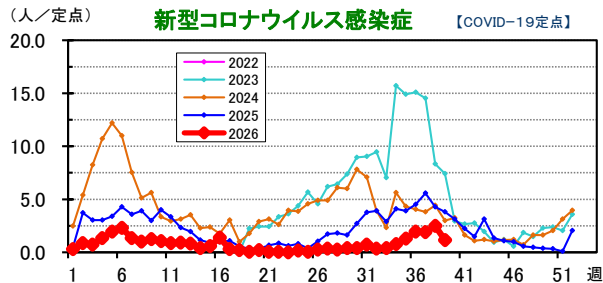
【定点把握対象疾患】* 定点医療機関・COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・ARI定点21医療機関・小児科定点14医療機関・喉科定点2医療機関

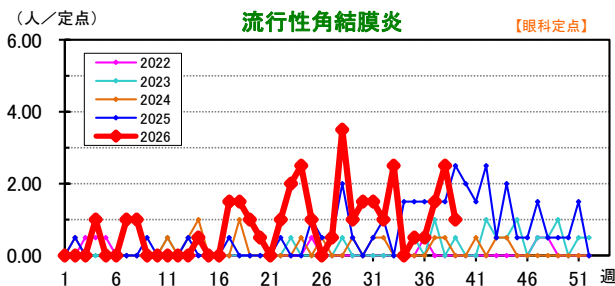
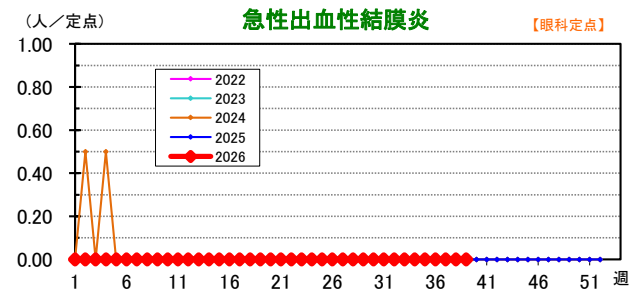
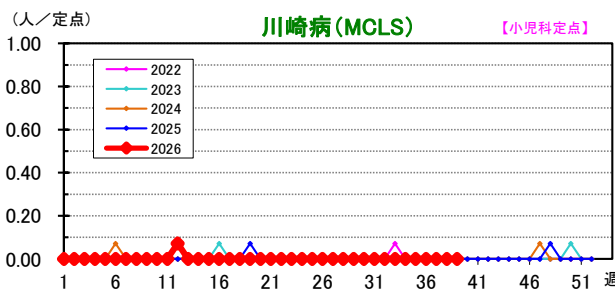
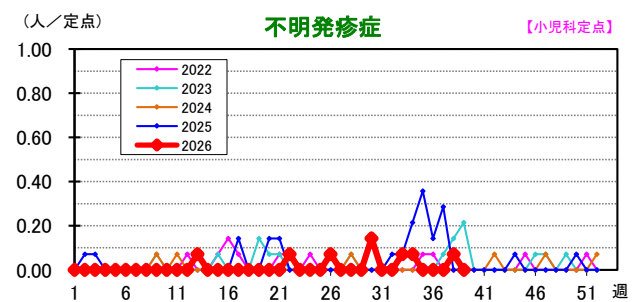
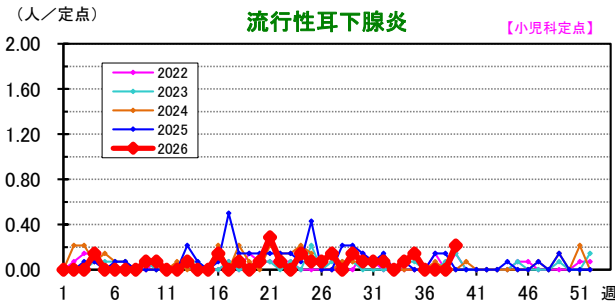
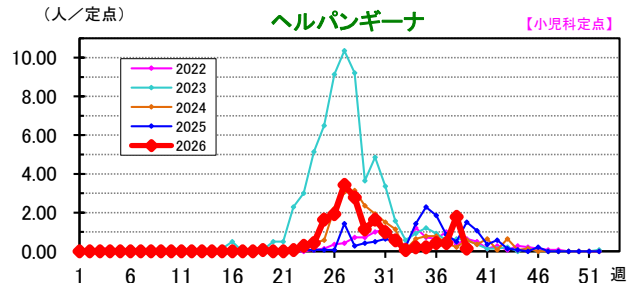
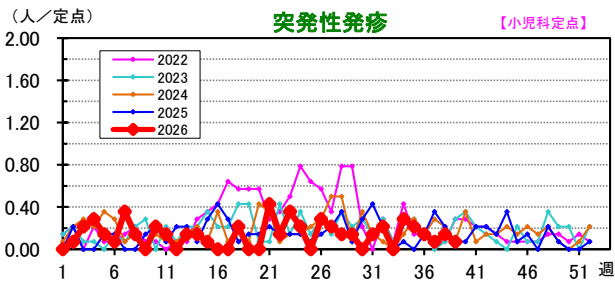
・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は1.14、インフルエンザは5.86、と前週から減少しましたが、連休による受診機会の減少などが影響した可能性があります。引き続き、手洗いなどの感染予防対策をお願いします

・水痘の定点当たり報告数が0.43、伝染性紅斑が0.14、流行性耳下腺炎が0.21と、いずれも前週から増加しています。今後の動向に注意が必要です。

【感染症集団発生状況(新規)】

・保育所において、インフルエンザ4件、水痘1件の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2026								1週からの 報告累計数
	36週		37週		38週		39週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	41	1.95	40	1.90	52	2.48	24	1.14	645
インフルエンザ	63	3.00	92	4.38	218	10.38	123	5.86	4,326
RSウイルス感染症	6	0.43	10	0.71	18	1.29	8	0.57	123
急性呼吸器感染症(ARI)	662	31.52	759	36.14	1038	49.43	489	23.29	27,841
咽頭結膜熱	1	0.07	4	0.29	1	0.07	0	0.00	30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.64	22	1.57	25	1.79	6	0.43	699
感染性胃腸炎	56	4.00	46	3.29	31	2.21	16	1.14	2,039
水痘	7	0.50	2	0.14	1	0.07	6	0.43	179
手足口病	4	0.29	3	0.21	8	0.57	4	0.29	889
伝染性紅斑	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.14	13
突発性発疹	2	0.14	1	0.07	2	0.14	1	0.07	76
ヘルパンギーナ	6	0.43	6	0.43	25	1.79	2	0.14	256
流行性耳下腺炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	0.21	31
不明発しん症	0	0.00	0	0.00	1	0.07	0	0.00	8
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	1	0.50	3	1.50	5	2.50	2	1.00	64

都内では、第37週(9月7日から9月13日まで)のインフルエンザ患者報告数が注意報基準を超え、昨年よりも1か月以上早く流行期に入りました。多摩立川保健所管内でも患者報告がみられており、今後さらなる流行拡大が懸念されます。インフルエンザの予防には、こまめな手洗い、換気、咳エチケット等の基本的な感染予防対策が有効です。また、ワクチン接種は発症予防や重症化予防に一定の効果が期待されます。これから本格的な流行期を迎えることから、早めの対策を心掛けましょう。

都内のインフルエンザが注意報基準を超えています!!